



各 位

2025 年 12 月 24 日

会 社 名	人・夢・技術グループ株式会社
代 表 者 名	代表取締役社長 野本 昌弘 (コード番号 9248 東証スタンダード)
問 合 せ 先	取締役副社長 塩 釜 浩 之 経営企画担当 (TEL 03-3639-3317)

「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応(進捗状況)」に関するお知らせ

当社は、2025 年 12 月 24 日開催の取締役会において、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を図るために、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、現状を分析・評価し、添付資料の通り内容を更新しましたのでお知らせいたします。

以上

資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応について － 進捗状況 －

2025年12月24日



人・夢・技術グループ株式会社

1. 現状分析と評価

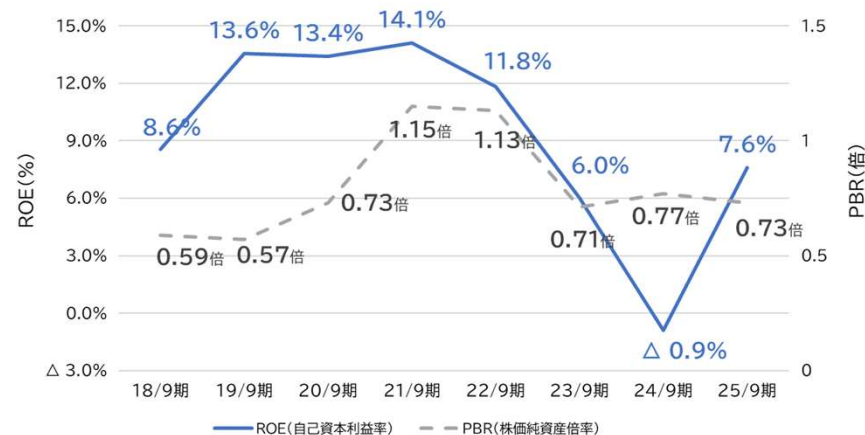
》》 ROEとPBRの推移

- ・ 当社グループのROE(自己資本利益率)は、2019年以降は10%を上回って推移していたものの、2023年9月期以降は、成長基盤確立に向けた集中的な投資等による営業利益の減少、並びに特別損失の計上の影響等による当期純利益の減少により低下。2025年9月期は投資の効果が見え始め、7.6%まで回復。
- ・ 当社グループのPBR(株価純資産倍率)は、ROEの増加とともに1.0倍を上回って推移していたものの、収益力の低下により、2023年9月期以降は、0.7倍から0.8倍の水準で推移。

1. 現状評価

項目	単位	19/9期	20/9期	21/9期	22/9期	23/9期	24/9期	25/9期	26/9期計画
売上高	百万円	30,954	30,954	34,541	37,604	39,812	39,814	45,984	44,800
営業利益	百万円	3,149	3,149	3,838	3,397	2,860	1,790	2,683	2,300
経常利益	百万円	3,195	3,195	4,024	3,891	3,200	1,756	2,708	2,318
当期純利益	百万円	2,047	2,047	2,406	2,333	1,203	(190)	1,564	1,236
営業利益率	%	10.2%	10.2%	11.1%	9.0%	7.2%	4.5%	5.8%	5.1%
ROE	%	13.4%	13.4%	14.1%	11.8%	6.0%	-0.9%	7.6%	7.6%以上
PBR	倍	0.73倍	0.73倍	1.15倍	1.13倍	0.71倍	0.77倍	0.73倍	-
配当性向	%	25.1%	25.1%	26.8%	25.2%	52.0%	-	35.1%	43.0%
純資産(非支配除く)	百万円	16,064	16,064	18,081	19,742	20,633	20,100	20,865	
1株当たり純資産	円/株	1,802	1,802	2,007	2,242	2,325	2,236	2,387	
人・夢・技術グループ株価※	円/株	1,316	1,316	2,299	2,535	1,646	1,721	1,733	

2. ROEとPBR



資本収益性と株価に対する現状分析 >>> ROEの低下等により将来の期待成長性が低い、認知度が低い

2. PBRの改善に向けた方針と目標

》》 ROE改善に向けた方針

現状の評価を踏まえ、「長期経営ビジョン2030」及び「持続成長プラン2028」の着実な実行により投資家から当社の成長性を適切に評価いただくことを基本方針とする

》》 PBR改善に向けた目標

①利益創出 ②株主還元の強化 ③IR/SR の強化の3つの取り組みを実行しPBRの改善を目指す

		中期経営計画 「持続成長プラン2028」 (最終年度:2028年9月期)	「長期経営ビジョン2030」 (最終年度:2031年9月期)	PBRの向上
①利益創出	基本的な方針	礎である「個」のチカラの最大化 による確かな成長	「持続的な成長」を通じた 「株主還元のさらなる拡大」	ROEの 向上
	連結売上高	487億	600億円	
	連結営業利益	31億	50億円	
	ROE	中長期的にROE10%程度またはそれ以上の水準を安定的に実現する		
②株主還元の強化		①2031年9月期までの間、1株当たり配当額60円と、 配当性向35%に基づく配当額の高い方を目安として安定的に配当 ②機動的な自社株買い		資本コスト の低減
③IR/SRの強化		①当社グループ事業への理解促進、②サステナビリティ経営のPR		

3-①. PBR改善に向けた取り組みの進捗状況 ― 利益創出

取り組み① 利益創出

- ・ 2025年9月期は、2024年9月期の好調な受注や大型の契約変更により増収増益となる
- ・ 中長期的にROE10%程度またはそれ以上の水準を安定的に実現するため、中期経営計画「持続成長プラン2028」を着実に実行し、収益性および将来の成長期待の向上を目指す

長期経営計画 「長期経営 ビジョン2030」	<ul style="list-style-type: none">・ 創業100年に向けた持続的成長のためのマイルストーン・ 新しい建設コンサルタント像の実現を通じた持続的な成長・ 売上高600億円、営業利益50億円を目標とする		
中期経営計画 「持続成長 プラン2028」	取り組み内容	2025年9月期実績	今後の取り組み
	<ul style="list-style-type: none">・ 「持続的成長プラン2025」の問題点や課題から、「持続成長プラン2028」の重要ポイントを設定<ul style="list-style-type: none">① 基幹事業の新たな価値創出② 新分野・新事業の収益性向上③ 多様な人材が活躍できる環境づくり・ 「持続成長プラン2028」の基本方針は、「礎である「個」の力の最大化による確かな成長」とし、個の成長を通してグループの成長に繋げる・ 事業で獲得するキャッシュを人材、DX、新事業等へ適切に投資する	受注高 462億円 (対前期比 +4.4%) 売上高 459億円 (対前期比 +15.5%) 営業利益 26億円 (対前期比 +49.9%)	<ul style="list-style-type: none">・ 中期経営計画「持続成長プラン2028」により持続成長の基盤を確立する < 2026年9月期計画 > 売上高 448億円 営業利益 23億円・ 事業軸別戦略:基幹事業の新たな価値創出と新事業・新分野の収益性向上・ 横断戦略:サステナビリティ推進のための人的資本やDXの推進

03 10. 中期経営計画「持続成長プラン2028」

基本方針

礎である「個」のチカラの最大化による確かな成長

事業軸別戦略

基幹事業の新たな価値創出と
新事業・新分野の収益性向上

×

横断戦略

サステナビリティ推進のための
人的投資やDXの推進

事業軸Ⅰ

更新維持管理分野への注力と顧客や業務分野の拡大

事業軸Ⅱ

CNや再生可能エネルギーサービスの多角化

事業軸Ⅲ

地域課題の解決・解消を図るまちづくりサービスの提供

海外連携展開領域

重点地域におけるODA＋非ODA案件の受注と受注安定化

新規分野・災害対応

新事業・新規顧客への拡大と災害時の対応強化

人的資本

個人内多様性の拡大と安全・健康な職場づくり

カーボンニュートラル

社会全体のカーボンニュートラルへの貢献

ガバナンス

グループガバナンスの強化

DX

DXによる生産性の向上

業績目標

売上高 **487億円**

営業利益 **31億円**

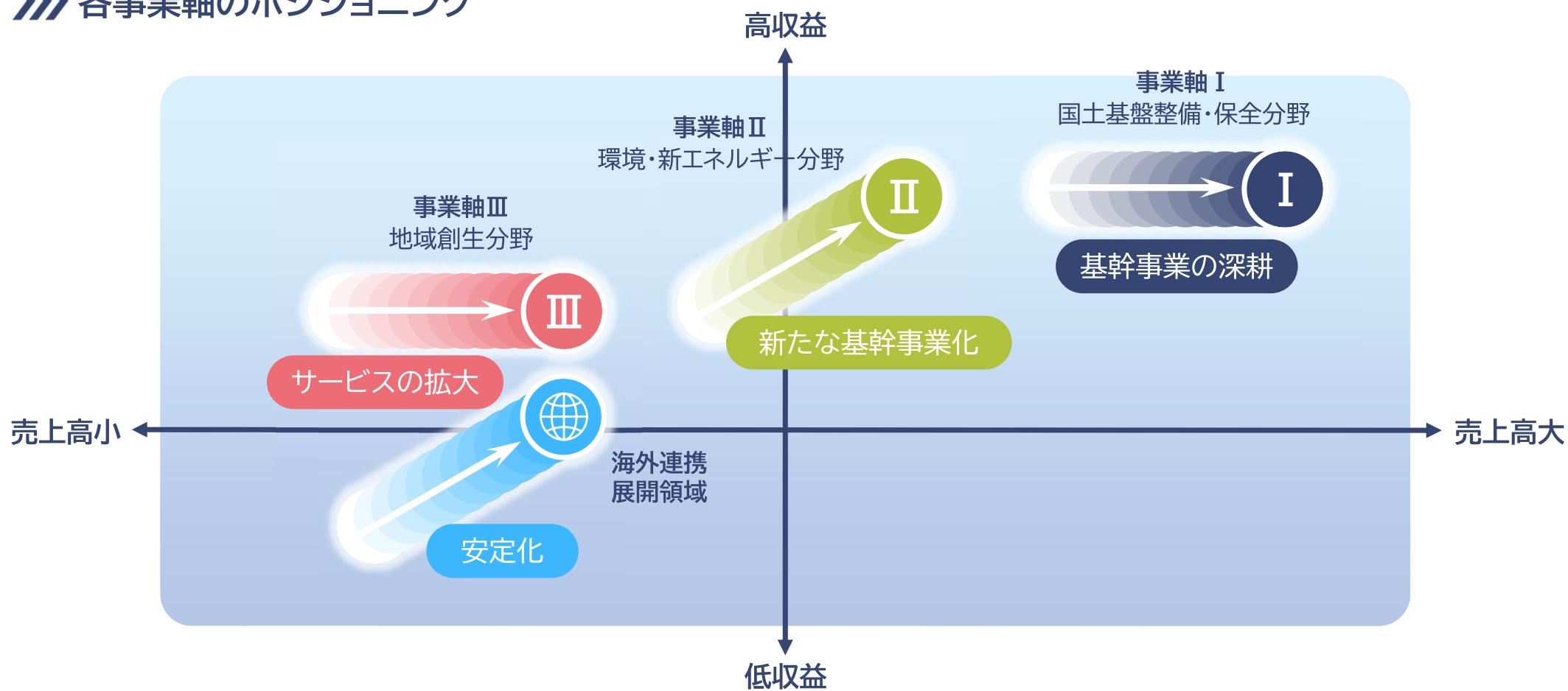
営業利益率 **6.4%**

ROE **9.0%**

社員数**2,390人**

03 12. 事業軸別戦略

》》》 各事業軸のポジショニング



3. PBR改善に向けた取り組みの進捗状況

》》》 キャッシュアロケーション

事業で獲得するキャッシュを人材、DX、新事業等へ適切に投資

【キャッシュイン】		【キャッシュアウト】
<div>営業CF (研究開発費等控除前)</div> <div>120億円</div> <div>(必要に応じて保有資金や外部調達を活用)</div>	➤	株主還元 18億円
		人的投資 39億円
		ITインフラ・DX投資 14億円
		成長投資 32億円
		その他の設備投資 17億円
外部調達		M&A投資 30億円～

人的投資 39億円

- ・ メリハリのある人事考課と給与水準の引き上げ
- ・ 採用強化や働く環境の整備

ITインフラ・DX投資 14億円

- ・ グループとしてのITインフラ投資、DX開発投資

成長投資 32億円

- ・ 研究開発投資、事業開発インフラ投資
- ・ 新事業への投資、ベンチャー投資

M&A投資 30億円～

- ・ インフラサービスとシナジーのある新事業領域への投資(新モビリティ、再生可能エネルギーなど)
- ・ 技術、人材、顧客基盤の獲得を通じ、事業ポートフォリオを拡充(港湾・河川分野、地域の建設コンサルタントなど)

3. PBR改善に向けた取り組みの進捗状況

取り組み② 株主還元の強化

- 配当の基本方針に基づき、収益に応じた配当と機動的な自社株買いを実施
- 「戦略的かつ適切なキャッシュアロケーション」と「株主還元の強化」を両立させ、資本効率の向上を目指す

	取り組み内容	進捗状況	今後の取り組み
配当政策の強化	<ul style="list-style-type: none">• 2023年6月に配当政策の見直しを実施。2031年9月期までの間、1株当たり配当額60円と、配当性向35%に基づく配当額の高い方を目安として配当することを配当の基本方針とする• 2025年9月期の配当は62円(配当性向35.1%) 2026年9月期は配当性向に基づき配当は60円(配当性向43.0%)を予定	<ul style="list-style-type: none">• 2025年9月期 62円を配当• 2026年9月期 60円の配当予想	<ul style="list-style-type: none">• 株主還元の基本方針に沿い、収益に応じた配当の実施
自社株式の取得	<ul style="list-style-type: none">• 経営環境、財務状況を勘案し、機動的に実施 ⇒2023年5月～9月に、約3億円相当の自社株式を取得	<ul style="list-style-type: none">• 2025年9月期は、自社株買いの実施なし	<ul style="list-style-type: none">• 引き続き機動的な自社株買いを検討

3. PBR改善に向けた取り組みの進捗状況

取り組み③ IR/SRの強化

- ・ 機関投資家や個人投資家の皆様に、当社グループと当社グループの事業について適切な理解を得るために対話を強化。また、HPを通してサステナビリティ経営への取り組みを充実させる
- ・ IR/SR活動による当社グループ事業への理解促進を通じて、当社グループに対する成長期待を醸成

	取り組み内容	進捗状況	今後の取り組み
当社グループの 認知度の向上や 事業への理解	<ul style="list-style-type: none">・ IR/SRの専門部署を設置し、IR/SR面談を実施・ 投資家の皆様への情報提供の機会を拡充 2016年から事業報告書、2020年から期末に加えて中間期の決算説明会を開始・ 個人投資家の皆様への情報提供とコミュニケーションの機会を拡充 2019年から日経IR・個人投資家フェアへ出展 ⇒IR/SR活動をさらに充実させる	<ul style="list-style-type: none">・ IR/SR面談を年間10件～20件程実施・ 決算説明会を中間と期末の2回実施・ 日経・東証IRフェア2025への出展など、個人投資家とのコミュニケーションの機会を拡充	<ul style="list-style-type: none">・ IR/SR面談による機関投資家と積極的な対話の実施・ 決算説明会の実施 年2回・ 個人投資家に向けて継続的かつ直接的なコミュニケーションとPRを拡充・ ブランディングを通して当社グループの認知度向上
サステナビリティ 経営への 取り組みをPR	<ul style="list-style-type: none">・ サステナビリティ経営への取り組みのPRを強化 健康経営宣言、カーボンニュートラルへの取り組み、専属パラアスリート選手との契約など	<ul style="list-style-type: none">・ カーボンニュートラルの取り組みの開示・ DE&Iセミナーの開催	<ul style="list-style-type: none">・ 人的資本、サステナビリティ経営の強化・ マネジメント人材育成の強化(コーチング/セミナー等)・ ダイバーシティ・DE&Iセミナーの継続実施・ HPを通じた取り組みの積極的な開示



人・夢・技術グループ株式会社

お問い合わせ先

人・夢・技術グループ株式会社 社長室 広報・IRグループ

電話 : 03-3639-3317 FAX: 03-6634-6430

Mail: ir@pdt-g.co.jp

HP: <https://www.pdt-g.co.jp/>